

支援制度の詳細は、下の二
次元コードをご覧ください。



↑ 修学支援



↑ 開業支援

＼ 返還免除もあります！ /

医師修学資金の貸与

将来、鹿角市内の医療機関に医師
として働く意思のある人に対し、修
学資金を無利子で貸与します。

○対象者

本人または保護者が鹿角市に住民
登録し、3年以上居住している人
※鹿角市に3年以上居住している3親等以
内の親族がいる人も対象となります。

○貸与額

月額 20 万円（最大6年間）
※入学初年度の学納金も、760 万円を上
限に貸与します。

○返還免除

臨床研修後 10 年以内に市内医療
機関で貸与期間に相当する期間（6
年貸与の場合は6年）医師の業務
に従事した場合、返還を免除します。

＼ 補助額は最大2,000 万円 /

医療機関開業資金を補助

○対象者

市内に診療所を開設する医師

○補助1 開業支援

・対象経費
補助対象施設に係る土地購入費、
建物建設費、医療機器購入費など
・補助額

対象経費の3分の2（上限2,000 万円）
※常勤医師が2人いる場合の上限額は、
4,000 万円です。

○補助2 雇用支援

・対象条件
市内に住所がある人を2人以上常
時雇用すること
・補助額

看護師など1人につき年 20 万円
※年5人を上限に最大3年間補助します。

市の医師確保対策

修学・開業を支援

市では、医学部への修学資金の貸与や医療機関の新規開設費用の
補助などを行い、医師の確保を目指しています。市の支援制度を
利用して医学部に入学した高杉さんと、市内にクリニックを開設
した澤田さんは、どのように自分の道を切り開いたのでしょうか。



石巻赤十字病院
初期研修医 高杉 貴大さん

尾去沢中学校から大館鳳鳴
高校に進学しましたが、学生
時代は野球一色の生活でし
た。部活引退後から徐々に勉
強に力を入れ、新潟大学の理
学部に進学。物理学を専攻し
ていましたが、就職後の進路
は決まっていませんでした。

そんな中、東日本大震災が
起き、テレビなどで被災者を
助ける医師の姿を目にし、自
分も非常時に人の役に立てる
人間になりたいと思い、医師
を目指すことにしました。一
度大学を卒業し、アルバイト
で生活費と受験費用を稼ぎな
がら新潟大学医学部を再受
験。入学後は、鹿角市医師修
学資金貸与制度を利用したこ
とで、学生生活を楽しみつつ、
勉学に集中することができま
した。

今は初期研修中で、軽症か
ら重症の患者さんまで幅広く
診療しています。今後はいろ
いろな場所で経験を積み、力
をつけてから鹿角に戻って地
元に貢献したいです。



かづのファミリークリニック
院長 澤田 朋啓さん

市の開業支援補助金を活用
して、令和5年4月にかづの
ファミリークリニックを開業
しました。それまでは、大館
市立総合病院の小児科で働い
ていましたが、鹿角から来る
患者さんも多く、「誰か鹿角
で小児科の先生が開業してく

れば、もっと患者さんが楽
になるのに」と思っていまし
た。そんな時、鹿角には耳鼻
科もないことに気付き、私は
以前、耳鼻科で勤務していた
経験があったので、自分なら
小児科も耳鼻科も幅広く診る
ことができ、地域の人の役に
立てるのではないかと考え
開業することにしました。

鹿角の人は真面目で礼儀正
しい人が多く、時には待ち時
間が長くなることもあるので
すが、患者さんのご理解のお
かげで診療ができています。

今後は、人員を増やし、家
族で何でも相談できるクリニ
ックを目指して頑張っていき
ますので、ご愛顧のほどよろ
しく願います。



医療職を夢見る学生をサポート

医療を志す若者たち

地元の中学生や高校生が
医療従事者の生の声を聞く
ことで、医療職を志すきつ
かけになることなどを目的
とした「医療職を志す中高
生の集い」が11月5日、交
流センター講堂で開かれ、
市内の学生22人が参加しま
した。本市と岩手医科大学、
小坂町が主催するこのイベ
ントは、令和2年度から始
まり、今年で4回目です。

当日は「医療のプロフェッ
ショナルから学ぼう！〜聞い
てみよう あなたの知らない
医療職の魅力〜」と題し、
本市出身で、石巻赤十字病
院医師の高杉貴大さんが、
医師を志したきっかけや受
験対策などについて講演し
ました。



石木田 広翔 さん
（花輪高校2年）

学んだことを
今後の**進路選択**に
生かしたい

学校の職業体験で整骨院に行き、そこでの体験や、
親からの勧めもあり「理学療法士」に興味を持ち参加
しました。講演では、ささいなきっかけで医療の道に
進んだということが印象に残りました。フリートーク
では、実際に働く人から話を聞いて、その分野の人だ
けでなく、さまざまな職種の人と連携しながら仕事を
していることを学ぶことができ、より理学療法士への
興味が増しました。

将来は、医療の道に進むかどうかも含め、まだ何も
決まっていません。それでも、今日のイベントで学ん
だことを今後の進路選択に生かしていきたいです。



湯瀬 妃菜 さん
（花輪高校2年）

お母さんたちが
安心して出産できる、
優しい助産師になりたい

私は、赤ちゃんが好きなことと、お母さんと子ども
をサポートできること、女性にしか就けない仕事であ
ることが魅力だと感じるので、「助産師」になりたい
と思っています。自分でも普段からいろいろ調べてい
ましたが、今日話を聞いてみて、助産師は出産に立ち
会える幸せをじかに感じられることや、出産だけでな
く保健センターなど別の働き口があることを新たに学
ぶことができました。

もしなれたら、お母さんたちが安心して出産できる
優しい助産師になりたいです。また、地元が好きなので、
将来は鹿角に戻ってきて地元の人の役に立ちたいです。